

の対馬ルート。2つ目は2万5千年前の北海道ルート。もう1つの台湾—沖縄ルートには世界有数の海流黒潮が立ちあがる。コンピューターによる模擬実験の結果、漂流でたどり着くのは不可能に近い。3万年前を可能な限り再現した航海実験は簡単なものではありませんでした。シーカヤックの経験がある5人にとっても困難の連続だったそうです。

国立科学博物館等のチームは7月に航海に成功し手こぎの舟でも黒潮をのりこえられることがわかったのです。一方で日本人の起源をDNAから突き止めようとする研究も進んでいて縄文後期の船舶遺跡から出土した女性の大臼歯からDNAを採取、分析したところ大陸の漢民族よりも沿岸の韓国人や台湾人に近かったそうです。弥生時代以降は大陸

から更に人が渡来し、弥生人等のゲノムなどとも比較して日本人の成り立ちを解明するのだと言うことです。

鯨が教える「論語」の極意 過ぎたるは及ばざるがごとし

本の商業捕鯨が31年ぶりに再開されました。生態系の捕獲「オリンピック」を振り返り、生態系保護の真髓を捕鯨国日本が今世界に対して説明したいものです。(解説面 NEW 門 7/19)

ドラムマンの階段 第4回

《エッセイ版》

佐藤 洋祐

皆さん、こんにちは！暑い夏真っ盛り、夏は太陽から降り注ぐエネルギーのおかげで「遅寝早起き（おそねはやおき）」でもわるくない、という話しも。こうした四季の移ろいに思い切り体をあずけて、日本という国に住む幸せを感じながら暑い夏を楽しみたいものです。

さて、これまでの連載で、アメリカから日本に活動の拠点を戻し、「日本でジャズという音楽の素晴らしさをより多くの皆様に」を目指し、そのために「この地ジャズ」を演奏していく、と申しあげました。では私の思う「この地ジャズ」とは？

さあ、また変な人（笑）の気ままな話ですので、流しながらお読みいただけたら幸いです。

かつてジャズミュージシャンは多くの

の歌謡曲や映画・舞台音楽をとりあげ、

それらを個性豊かに聞かせて人気を博し、それらの曲がごんにちに至るまで「ジャズスタンダードナンバー」と呼ばれ親しまれるようになりました。自分流の変奏や編曲を加えて自由にその人らしく演奏することがジャズの醍醐味です。原曲からはどんどんかけ離れていくことも！「あの曲がこんな風になるのね！」「もともとの曲が全然わからないけど面白い！」「あんなに重たい曲がこんなに軽やかに！」「そんな感覚が聴く人の耳を感性を楽しませたのではないのでしょうか。

そう、もともとスタンダード曲が存在したのではなく、すでに耳馴染みの曲が自由なジャズマン流に演奏され、それが長く愛されてスタンダードという遺産が育まれたんですね。



それであれば、私はこれから日本で生活していくわけですから、日本の皆様、これまでジャズに親しみをもちになる機会が少なかった皆様にも楽しんでいただけるような、日本の曲を素材に「ジャズ」したいんです。

日本に戻ってから人生で初めてつくった自分の音楽アルバム（人からいただいた仕事ばかりして自分名義のアルバムはそれまで創っていません）は、「FURUSATO（ふるさと）」というタイトルにし、日本の

唱歌、童謡、そして歌謡曲を素材にしたジャズを録音しました。スウェーデンの名ピアニスト、ヤン・ラングレンさんに、彼の企画するスウェーデン・イースタッド市のジャズフェスティバルに招いてもらった際、彼と二人で現地の古い劇場で録音いたしました。これからの人生の目標を見据えながら日本で最高のスタートが切れましたこと、ご縁をいただいたすべての皆様に心から感謝しております。

アルバム「FURUSATO（ふるさと）」モークラウドレコード（MOULD-011）収録曲は「みかんの花咲く丘」「ヤシの実」「ふるさと」「すいすいすころばし」「海」など。ジャケットデザインは佐倉市在住のデザイナー、堀井政利さん。

《佐藤 洋祐（サトウ ヨウスケ）ジャズミュージシャン。サクソフォーンとしてグラミー賞を2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高い評価を得た。その後2015年末千葉県に住まいを移し現在に至る。》

